

筑前

CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

年4回発行
5月・8月・11月・2月

●編集発行
筑前町議会広報特別委員会
電話 0946-42-6622

バックナンバー
はこちらから



Dreams Come True
～夢は叶う～

(関連ページP16)



- ▶ 議会新体制スタート P2
- ▶ 3月定例会 P3
- ▶ 予算審査特別委員会 P4～
- ▶ 町政のここが聞きたい 一般質問 P6～

第68号

2023.5

～新体制がスタートしました～

町民の皆様には、日頃から筑前町議会の活動に対しまして、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和5年2月1日第1回臨時議会において議員各位のご推挙により、議長並びに副議長に就任いたしました。

ここに改めて、その職の責務の重大さを認識し、町政の発展と円滑な議会運営に全力を尽くす所存でございます。

町議会は、議決機関としての役割と機能を十分に発揮し、二元代表制の一翼を担うべく、皆様のご期待に沿うように努力してまいります。

また、議会のICT化の一環として、議会中継や録画配信は既にスタートしているところですが、本年度はタブレット端末を導入して会議運営の効率化を進めていくなど、更なる議会改革に取り組んでまいります。

結びに、町民の皆様方の益々のご健勝を心からお祈りいたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。



副議長 寺原 裕明
議長 田中 政浩

議会運営委員会 ～更なる前進 筑前町議会～

写真右から

- ◇田中 政浩
- 原口 博文
- 柳 雅明
- ◎寺原 裕明
- 山本 一洋
- 河内 直子



議会を円滑、かつ効率的に運営することを目的として、議員相互のレベルアップを図るとともに議会改革を進め、町民の皆様から信頼される議会をめざします。

総務建設常任委員会 ～すべては「調査して研究する」から～

町内の様々な問題点を調査し、その結果を町当局に報告・提言することで、町のあり方について掘り下げてきました。これからも、委員会活動を通じて、町目標の「とかいなか」の更なる実現に向けて進んでいきます。



写真右から

- 木村 和彦
- ◇田中 政浩
- 原口 博文
- ◎柳 雅明
- 石丸時次郎
- 原田 邦男
- 原田 宏

文教厚生常任委員会 ～「見て」・「聴いて」・「議論して提言」～

写真右から

- 池松 和彦
- 奥村 忠義
- 河内 直子
- ◎山本 一洋
- 山本 久矢
- 石橋 里美
- ◇寺原 裕明



教育・福祉・健康・環境等を所管する委員会です。住民の生活に直結する問題や課題を多く抱えていますが、「見て」「聴いて」「議論して」そのことを「町に提言」していくために委員一同、頑張っております。

議会広報特別委員会 ～「伝わる 広報紙」を目指して～

住民の方が議会に関心を寄せ、情報を共有できる議会だより「うぐいす」を目指して、委員一同取り組んでいきます。



写真右から

- 原田 宏
- 原口 博文
- ◎石橋 里美
- 池松 和彦
- 河内 直子
- 原田 邦男

※ ◎委員長、○副委員長、◇オブザーバー

3月定例会

3月6日から17日の12日間で開催された。
人事6件・補正予算4件・条例改正12件・当初予算7件等が提出され審議の結果、いずれも可決した。



令和4年度 一般会計予算

総額 139億2656万円

補正予算の主なもの

出産・子育て応援交付金事業

(子育て支援アプリ導入業務委託料及び使用料)
(繰越)

285万円



保育補助者雇上強化事業



263万円

夜須中北側校舎外壁改修工事

(繰越)



9626万円

新人事の紹介

◆人権擁護委員(再任)

和田 秀哉 氏

◆固定資産評価審査委員会委員(再任)

井手 江美 氏

◆教育長(再任)

宮崎 敏宏 氏

◆教育委員会委員(新任)

東野 正美 氏

◆甘木・朝倉広域市町村圏事務組合等公平委員会委員(新任)

井上 恒夫 氏
倉掛 俊一 氏





令和5年度 一般会計予算のあらまし

歳入歳出総額 133億2605万円

前年度当初予算比 5億1192万円(4%)の増

『**緑あふれる 豊かで便利な とかいなか**』の実現のため

過去 **2番目** に大きい予算となりました。

★増額となった主な事業の概要★

(私立)保育所運営費負担金

9億4199万円

(1億3291万円の増)

小規模保育事業所の開設等によるもの

小・中学校の運営・整備関係

3億7461万円

(1億1514万円の増)

教室増設に要する費用など

都市公園維持管理費

1億1172万円

(6825万円の増)

公園のトイレ改修、駐車場の整備などを行う

学童保育運営費

1億1720万円

(6162万円の増)

学童保育所整備等に要する費用

自治体DX関連事業

8266万円

(6042万円の増)

行政基幹システムOSの切替えを行う

公共交通活性化対策事業

5946万円

(1621万円の増)

オンデマンドバス導入によるもの

財政

問 どのような課題認識で予算編成をしたのか。

答 健全財政と地域の活性化は両立すべきという基本的な考え方に立ち編成。
(町長)



機構改革

問 機構改革の方向性は。

答 配置のあり方、各課の連携がスムーズにいくよう計画を検討している。
(総務課長)

暮らし

問 一昨年地域バスの運行を大幅改正した検証はできているのか。

答 利用者は横ばい。巡回バスの検証と併行してオンデマンドバスの導入を検討した。
(企画課長)



問 住宅リフォーム補助事業が復活しているが。

答 町民の居住環境の向上と地域経済の活性化及び移住促進を図るため、10万円を上限として予算の範囲内で補助するもの。
(都市計画課長)

活性化

問 大刀洗平和記念館の地域おこし協力隊は、地域の活性化、定住、定着に繋がるのほどうしてか。

答 主に企画展の計画立案から実施までをお願いし、活性化を図りたい。
(大刀洗平和記念館長)

子育て

問 小規模保育所を栗田地区と、もう一ヶ所募集するということが、それで待機児童は解消できるのか。

答 全員が入れるわけではない。対策は続けていく。
(こども課長)

教育

問 中牟田小学校と東小田小学校の教室増設設計の内容と今後の計画は。

答 中牟田小学校は、鉄骨造り2階建て3教室。東小田小学校は、木造平屋建て2教室。どちらも令和6年度に建設工事を行う予定にしている。
(教育課長)



問 二つの図書館に特色を持たせる取り組みを。

答 特色化を出すことは大事なことだと思う。二つの図書館とも本館であり基本となる図書を備えつつ、学びの機会が充実するように検討していく。
(教育長)

環境と農業

問 ごみ減量化対策事業の成果、今後の補助事業は。

答 令和3年度、令和4年度に150名が生ごみ減量モニター事業を実施し、可燃ごみの減量につながった。令和5年度は、生ごみ処理機の補助件数、補助率を見直した。
(環境防災課長)

問 経営発展支援事業の補助対象者の人数は。

答 対象となるのは、認定新規就農者で、令和5年度の対象者は5経営体を予定している。
(農林商工課長)

問 ため池のしゅん濇測量設計箇所は。

答 二区の2ヶ所のため池を予定している。
(農林商工課長)

一般質問

町政のここが聞きたい!

3月議会定例会では、9名の議員が一般質問を行い、町政全般の現状や方針について報告・説明を求めた。

※一般質問に関する記事は質問者自身で作成しています。



会議録

発言の全内容(録画配信)は各議員ページのQRコードからアクセスできます

令和5年 第1回(3月)定例会 (全会一致で同意・可決した議案等)

| | | | | |
|---------|----|--|------------------|--|
| 人事 | 適任 | 人権擁護委員の推薦 | 条例 可決 | 筑前町附属機関に関する条例の一部改正 |
| | 同意 | 筑前町固定資産評価審査委員会委員の選任 筑前町教育委員会教育長の任命 筑前町教育委員会委員の任命 甘木・朝倉広域市町村圏事務組合等公平委員会委員の選任(2件) | | 筑前町特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 筑前町ふるさと応援寄附条例の一部改正 |
| 補正予算 | 可決 | 令和4年度筑前町一般会計補正予算(第12号) | | 筑前町手数料条例の一部改正 |
| | 可決 | 令和4年度筑前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) | | 筑前町めくばー条例の一部改正 |
| | 可決 | 令和4年度筑前町下水道事業会計補正予算(第3号) | | 筑前町学童保育所条例の一部改正 |
| | 可決 | 令和4年度筑前町水道事業会計補正予算(第1号) | | 筑前町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部改正 |
| 令和5年度予算 | 可決 | 令和5年度筑前町工業用地造成事業特別会計予算 | | 筑前町安の里ふれあい農園の設置及び管理に関する条例の全部改正 |
| | 可決 | 令和5年度筑前町下水道事業会計予算 | | 筑前町消防団員の定員、任用、給与、服務等に関する条例の一部改正 |
| | 可決 | 令和5年度筑前町水道事業会計予算 | | 筑前町コスモスプラザ条例の一部改正 |
| その他 | 可決 | 町道の路線認定 | | 筑前町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定 |
| | 可決 | 町道の路線変更 | 筑前町国民健康保険条例の一部改正 | |

令和5年 第1回(3月)定例会 (賛成多数で可決した議案等)

| 区分 | 議員名 | 原田 邦男 | 池松 和彦 | 原口 博文 | 原田 宏 | 木村 和彦 | 石橋 里美 | 柳 雅明 | 山本 一洋 | 石丸 時次郎 | 奥村 忠義 | 山本 久矢 | 河内 直子 | 寺原 裕明 |
|---------|---------------------------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 令和5年度予算 | 令和5年度筑前町一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | 令和5年度筑前町国民健康保険事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | 令和5年度筑前町後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | 令和5年度筑前町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |

令和5年 第1回臨時会(初議会) (全会一致で承認・可決)

| | | |
|------|-----|-------------------------------|
| 人事 | 同意 | 筑前町監査委員の選任 |
| 報告 | の報告 | 専決処分報告(筑前町朝日地内での事故) |
| 予補算正 | 承認 | 【専決処分】 令和4年度筑前町一般会計補正予算(第11号) |

議長 田中政浩は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。

やなぎ まさ あき
柳 雅明
議員



小規模特認校としての三並小学校は

各学年・各学期からでも転入可能へ

募集要綱の

変更はあるのか

柳 通学バスの運用はあ
るのか。

教育課長

自宅が他の小学校区であり、送迎は保護者の責任でお願いする。ただし、防犯や交通災害の観点から、子供の命を守ることを考え、通学距離の基準を見直し、オンデマンドバスの導入を検討している。

柳 入学を、新一年生のみ
に限定した根拠は。

教育課長

本町での初めての取り組みのため、制度設計の段階で先進地域の市町村の情報を収集した。全学年対象にした場合、他の小学校の学級数に、影響を及ぼすことを危惧した。



三並小学校8名の卒業式

柳 説明会参加の保護者
が数名いたが、結果は。

教育課長

三並小学校小規模特認校制度への関心と、理解をしていただいたが、結果として来年度入学する児童はいない。

柳 今後も、この募集要
綱で実施するのか。

教育長

新しい制度を導入した元年に、制度を活用する児童がいなかったことを、重く受け止めている。制度の問題ならば、募集人数を各学年20名となるまで受け入れる、年度初めだけでなく、各学期からでも転入可能とするなど、少人数で特色ある教育活動を教職員一体となつて取り組んでいく。

森林資源活用で

CO2削減は

柳 バイオマス発電所の
メリットは。

農林商工課長

九電未来エナジーが経営する筑前町のバイオマス発電所は、県内の間伐材を燃料として発電する。森林を整備することで防災・減災面で効果が期待されるが、災害時に、筑前町への優先的な送電供給は制度上できない。

柳 CO2削減効果は。

農林商工課長

森林を木の成長と伐採で循環させることで、SDGsの取り組みへとつながり、この発電所年間数万トンの温室効果ガスの削減を可能としている。



いけ まつ かず ひこ
池松 和彦
議員



生涯スポーツの推進

池松 今後、生涯スポーツに関して新しい企画の予定は。

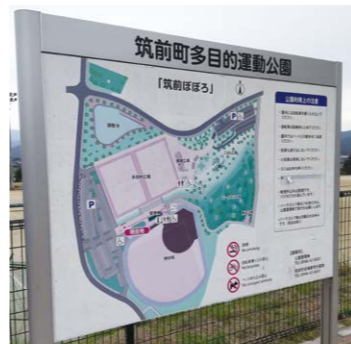
生涯学習課長 新たな企画は現時点では具体化していない。まずは、既存のイベントの改善努力をしていく。

池松 「筑前町30歳のスポーツ同窓会」を開催しては。

生涯学習課長 一つの区切りとなる年齢に絞った企画を検討することも、生涯スポーツの推進に寄与するものと考えるので今後の参考にする。

「観るスポーツ」の推進

池松 筑前町でも「観る」の事業を行うべきでは。



筑前ダービーの実現なるか?!

生涯学習課長 学校教育と連携した企画については、学校のニーズを踏まえ、町の生涯スポーツを盛り上げて行く観点から実現可能かどうか検討していく。

池松 多目的運動公園には野球場とサッカー場がある。「筑前ダービー」という形で三輪中、夜須中の対抗戦を行っては。

中学校運動部の地域移行

池松 中学校運動部の地域移行への取り組みは。

教育課長 学校行政、関係団体からなる部活動改革検討委員会を設置して意見をいただいている。令和5年度は一部の部活で休日や時間を行うことや、実施部活動指導員を増員することなどを考えている。

池松 週の前半後半で別の種目を行う「運動部多目制度」を検討しては。

教育課長 生徒の多様なニーズに応じた活動を行うことができる環境整備は重要。今後の地域連携、地域移行の中で議論していく。



早急な施設の設置を

山本 乳幼児を持つ複数の保護者から、急な発熱や体調不良の子どもを一時的に預ってもらえる、病児保育(※)の設置要望が数多くあるが、現状は。

こども課長 小郡市・筑紫野市などの施設を紹介している。

山本 福岡県では、2023年から、病児保育無償化の取り組みもなされるようだが。

こども課長 小郡市と、広域利用協定を交わしているが、本町の課題としては、利用できる施設を拡充する事だと思っている。

山本 子育てにやさしい町ということで人口増にも繋がっているのではないかと。児童福祉法では、実施については、市町村の努力義務となっているが。

こども課長 県や近隣市町村の動向を注視していきたい。

山本 行政から、町内の医療機関や保育所などに積極的な働きかけを行っていたらいいと思うが。

こども課長 小児科、企業主導型施設が町内にあるが、相手側との協議を行い進めていきたい。

山本 悩みをもっている保護者の方に寄り添ってもらい、対応を望む。

町長 担当課と協議をして、前向きに取り組みたい。



元気に遊ぶ子どもたち

※病児保育とは
幼稚園・保育園に通っている子どもが、急な病気になるたときに、仕事を休めない親に代わって子どもの世話をするサービス。

病児保育施設の設置を早急に

現在は、近隣の施設を紹介

やまもと かず ひろ
山本 一洋
議員



いし ばし さと み
石橋 里美
議員



障がい者にやさしいトイレ表示を

前向きに関係課と協議していく

男性用トイレにサンタリーボックスの設置を

石橋 町内公共施設のバリアフリートイレ数及びオストメイト(※)対応トイレ数は。

財政課長 バリアフリートイレは56ヶ所、オストメイト対応トイレは15ヶ所。

石橋 男性用トイレへのサンタリーボックス設置は。

財政課長 全てのバリアフリートイレを最優先に進める必要があり、必要の高い施設などからの導入を検討する。

石橋 オストメイト対応トイレの情報を入手するツールは。

福祉課長 オストメイト協会のホームページの案内を行っている。また、必要に応じて、その情報を印刷して提供している。

石橋 オストメイト対応トイレと分かる表示をしているか。

財政課長 案内用図記号や説明文を記したプレートを表示している。

石橋 高齢者や障がい者以外の方の利用を控えてもらう啓発用の表示は。

財政課長 真に必要な方への配慮など、施設の管理部署と連携し、表現や表示方法の充実に努める。

石橋 今後の町の対応は。

町長 社会とのつながりを維持し、安心して外出できるように、きめ細やかな配慮と環境の整備を検討する必要があり、前向きに関係課と協議していく。

※オストメイトとは様々な病気や事故などにより人工肛門・人工膀胱を造設した人。

保育所における使用済みおむつの処分

石橋 町内の認可保育所・園での処分状況は。

こども課長 私立認可保育園では、園で処分している。美和みどり保育所では、尿をしたおむつは持ち帰らせていたが、本年3月1日から園での処分を開始した。

石橋 保管するごみ箱の確保や処分費用が発生するが、保護者負担がないよう要望する。



国土交通省バリアフリートイレ啓発チラシ

はら だ くにお
原田 邦男
議員



城山地区に観光農園を

地権者とマッチングした施策を研究していく

耕作放棄地の対策は

原田 城山地区耕作放棄地の安全対策と、観光農園や貸農園として活用できないか。

農林商工課長 安全対策については、補助金をつけて有害鳥獣の駆除を実施している。城山地区においては、関係機関と連携して聞き取り調査などを行っている。地権者とマッチングした耕作放棄地を利活用できるように研究していく。

今後の農業施策は

原田 農業後継者育成の施策は。

農林商工課長 女性認定農業者育成事業・若手の新規就農推進事業並びに定着促進として、農業次世代人材投資事業などの施策を行っている。

原田 普通作農家への支援策は。

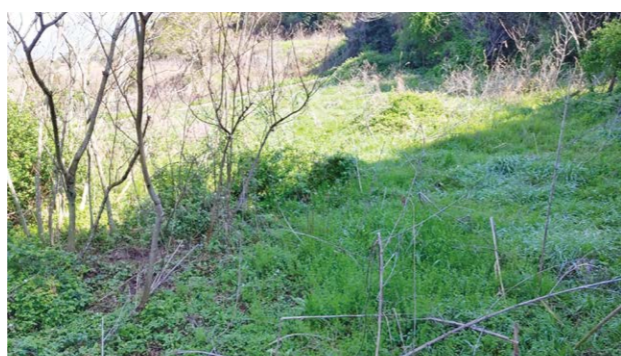
農林商工課長 水田麦・大豆産地生産性向上事業や肥料高騰対策などを実施している。

原田 学校給食での地産地消の拡大は。

教育課長 地元地産地消推進事業として、生徒一人当たり2千円の助成を実施した。

原田 昨今の状況を踏まえ、この農業問題についての考えは。

町長 認定農業者を育てていくだけではなく、農業農村には優れた文化があり、それと同時に高齢の方々・女性の方々の農業に対する意欲と知恵などを生かして地産地消を推進していく。



城山地区の耕作放棄地

その他の質問

東小田小学校の遠距離通学児童のスクールバス導入について。



いし まる と き じ ろ う
石丸 時次郎
議員



耕作放棄地対策は

石丸 農業を取り巻く厳しい環境の中、耕作放棄地が増えている。今後、加速度的に増加していくと考えられるが対策は。

農林商工課長 農業委員による利用状況調査を通して、耕作放棄地解消に向けた対策として利用権などの斡旋を行っている。
また、町は新規就農推進を関係機関と連携して行っており、経営開始資金や機械導入などの支援を実施。



雑草に覆われた耕作放棄地

筑前クロダマルの現状は

石丸 地域特性と多くの農家が生産、そして住民に健康面でも貢献できる筑前クロダマル活用は、地域振興の起爆剤となりうることから、推進されてきた。現状は。

町長 筑前クロダマル導入の思い、発展への可能性は今も変わることはない。作付面積も現在では約21ヘクタール。今日まで筑前クロダマルを生かした6次化に取り組み、販売商品数はみなみの里だけで55点。
また、筑前クロダマルの枝豆は品質、味ともに大変好評であり、将来観光農業の一つの戦略作物になり得ると思っている。まだまだ発展途上、今後も地元の特産品として育てていきたい。



法人化進捗状況は

石丸 農を生かした町づくり構想の一つとして、取り組んでいる農業法人化。進捗状況は。

町長 今本町には約11団体の法人がある。一方集落農業の法人化は進んでいない。今日まで、これからの農業について集落営農か認定農業者か議論してきた。
私は最終的には認定農業者という思いで取り組んでいる。

効率的な下水道事業への再編を

人口維持のため積極的に取り組む

はら ぐち ひろ ぶみ
原口 博文
議員



農業集落排水の公共下水道への編入促進を

原口 老朽化が進む農業集落排水処理場の修繕・改築更新計画は。

上下水道課長 過去10年間の修繕費が約4400万円。改築更新の概算費用は、約10億4600万円が見込まれる。

原口 改築更新より流域公共下水道へ編入をした方が効率的ではないか。平成25年度に行われた編入の検討結果は。

上下水道課長 検討時はまだ耐用年数期間内のため、維持管理をしながら使用をしていくことになった。

原口 検討後の対応、今後の計画は。

上下水道課長 宝満川上流公共下水道の構成団体などとの協議を行ってきた。今後とも進めて行く。



上高場浄化センター

原口 町の人口が更に増加していくためにも、早期の事業着手を。

町長 人口維持のためにも、下水道・上水道の整備は不可欠、積極的に取り組む。

北部地域の活性化、振興を

原口 北部地域の少子高齢化が進んでいる。活性化対策は。

町長 山麓線の全線開通・光ファイバーの敷設・みなみの里の整備を行った。自然環境を生かして、長いスパンで魅力ある地域にしていきたい。

原口 県道77号線(山麓線)沿線への企業誘致を。

町長 みなみの里付近には、新しい店もできている。食の街道となるようなまちづくりができればと考えている。そのためにも、国道200号バイパスとの接続促進の要望活動が続ける



はら だ ひろし
原田 宏
議員



児童・幼児のマスク着用緩和対応は

原田 児童のマスク着用緩和は。

教育課長 国の方針をふまえ、適切な対応と保護者への周知を丁寧に行う。

原田 マスク着用・非着用児童の混在での学校内での対応は。

教育課長 着用する・しないの状況でも、児童生徒の意思を尊重し、保護者・教職員も理解し、つらい思いをしないよう努めていく。また、心のケアに努め、教職員で一致して支援を行っていく。



原田 幼児の着用緩和は。

こども課長 現在の感染対策を行いながら保育をしていく。個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断に委ねる。

原田 今後、感染増加の時は。

こども課長 保育所の社会的機能を継続し、保育を必要とする方の為に、保育士の感染拡大防止意識を高め、園と町で協議を行い、運営を行っていく。



今後の農業経営は

原田 今後の農業政策は。

町長 筑前町の1/3を占める農地がある当町では重要な産業であり、後継者問題、耕作地の放置による宅地化など、さまざまな問題があるが土地利用型農業・大型野菜・露地野菜などを主体とした業態経営をめざす。補助制度などを活用し機械化の導入を行っていく。



子ども医療費助成の拡充を

河内 県に先駆け、中学生までの助成をしてきたが、県の助成が開始された。中学生までの半額の予算で、18歳までの助成は可能。これまでのように、県・他市町村に先駆け、18歳までの拡充に取り組んでもらいたい。

健康課長 財政面や県内自治体の状況、少子化対策・子育て支援の観点

から、入院助成について実施する方向。実施時期や自己負担などの詳細について、今後、協議していく。

河内 昨年12月議会で、町長は、今のところ見合わせていきたいとの答弁だったが、実施という方向でいいのか。

町長 実施の方向で進めていく。

「女性支援法」の基本計画策定を

河内 令和6年4月1日から「女性支援法」が施行される。女性支援事業は、国及び地方公共団体の責務として実施される。その第一歩として、基本計画策定の検討が必要と考えるが。

企画課長 基本計画の指針となる基本的な事項が示される予定であり、その動向を注視していきたい。

就学援助の支給項目拡大を

河内 クラブ活動費・生徒会費・PTA会費の支給検討の結果は。

教育課長 現段階では、考えていない。

河内 児童扶養手当受給世帯も適用となるが、利用されていない世帯が多い。健康課と連携し、個別に、お知らせすべきでは。

教育課長 健康課と連携を取り、進めていきたい。

18歳までの医療費無償化を

入院助成について実施する

かわち なお こ
河内 直子
議員



まちかどインタビュー



念願のチャンピオン獲得

今回は、下高場にある永利牧場の近藤博昭牧場長にインタビューを行いました。

永利牧場で飼育している乳牛の1頭が、久留米市で行われた「第32回久留米スプリングショー乳牛コンテスト」でグランドチャンピオンを獲得。妻の直美さんは「3年ぶりの開催で初優勝できて嬉しい。日頃頑張ってきたことが結果になった」と笑顔で話してくださいました。

また、近藤さんの子ども達は3人とも深野道場で空手を習っており、長男の勇吹君は「小学校一年生の時から始めました。中学校では勉強も空手も頑張りたい」と元気いっぱいに答えてくれました。



「ナガトシ・ミルク・マッケン・キャピタル・ドリカム」の勇姿

グランプリを獲得した牛の名前は「ナガトシ・ミルク・マッケン・キャピタル・ドリカム」。

歌手のDREAMS COME TRUE(ドリカム)好きな直美さんが名付けたそうです。

「Dreams Come True～夢は叶う～」ですね!

令和5年6月定例会日程(予定)

6月1日(木)～6月9日(金)

一般質問

6月6日(火)・7日(水)

※日程は変更になる場合があります

一般質問通告書は、5月22日以降、ホームページで公開する予定です。支所窓口や議会事務局でも配布しています。

議長の動き

一部を紹介



令和5年

- 2月14日(火) 甘木・朝倉・三井施設環境組合議会定例会
- 2月16日(木) 福岡県南広域水道企業団議会定例会
- 2月17日(金) 両筑衛生施設組合議会定例会
朝倉保護区保護司会研修会
- 2月20日(月) 倉掛奨学会理事会
- 2月24日(金) 福岡県町村議会議長会定期総会
- 2月26日(日) CHIKUZEN5くぐすマラソン2023(スターター)
- 3月 2日(木) 自衛隊入隊激励会
- 3月23日(木) 草場川並木ライトアップ点灯式
- 3月27日(月) 第27回平和の碑のつどい・ピースキャンドル

編集後記

3月13日以降、マスク着用が緩和されるようになり、最近では素敵な笑顔の方に会える機会が増えてきました。笑顔って人の心を明るくしてその場を柔和にしてくれる力があります。笑顔でいられる人生って大事ですね。

今号から新しい広報委員会メンバーでの編集スタートになりました。委員一同力を合わせ、議会を身近に感じてもらえる議会だより「うぐいす」を作ってまいりますので、よろしくお願ひします。

(石橋 里美)

発行責任者

議長 田中 政浩

議会広報特別委員会

委員長 石橋 里美

副委員長 池松 和彦

委員 原田 邦男

委員 原口 博文

委員 原田 直子

委員 河内 直子